

心理学研究演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

岡本 潤子

1. 授業の概要(ねらい)

班別で、研究を進めていきます。質問紙調査,あるいは、インタビュー調査など、自分たちで調査手法を選択してデータを取り、分析、考察を行います。班ごとに成果を発表しますが、最終的な研究結果は個人で執筆します。4年生の研究は、3年生より速いテンポで進むと思われますが、適宜3年生の班に助言を行うことで、知識と技術を定着させていきます。

2. 授業の到達目標

- ① 班ごとに絞った研究テーマを、具体的な調査計画に整え、調査を実施できる。
- ② 得られたデータを分析し、考察し、班で協力して発表し、また、個人で執筆することが出来る。
- ③ 家庭裁判所研修の成果を、研究と実践の視点で考察することが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

グループでの研究の進展20%、調査の実施・データの分析と考察などを精緻に行う個人の姿勢(含、授業への参加姿勢)30%、成果発表20%、最終レポート30%を、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

桐生 正幸 『基礎から学ぶ 犯罪心理学研究法』 福村出版
ジョン・マクレオット(著) 下山晴彦 (監修) 『臨床実践のための質的研究法入門』 金剛出版
山際雄一郎・服部環 『文系のためのSPSSデータ解析』 ナカニシヤ出版

5. 準備学修の内容

調査の準備,データの整理・分析などは、授業時間だけでは行えません。各人が、グループ 作業を積極的に担うよう、工夫を提案し、努力することが必要です。

6. その他履修上の注意事項

興味本位や個人的な関心に流されやすい分野ですが、臨床的な視点と、クールな探究心を期待します。また、面倒くさがらずに作業に向かう姿勢を歓迎します。特に、グループでの研究のために、自身の予定を調整する覚悟と、前向きに取り組む意欲を期待します。グループで物理的に集合することは困難な時が多いと思います。方法を工夫し、意思疎通を取り合うよう、取り組んでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 後期イントロダクション。予備調査
- 【第2回】 研究進行状況報告。予備調査
- 【第3回】 班ごとに研究計画を固める ①
- 【第4回】 班ごとに研究計画を固める ②
- 【第5回】 研究の進め方についてのガイダンス ①
- 【第6回】 班ごとに研究を進める。本調査の準備 ①
- 【第7回】 班ごとに研究を進める。本調査の準備 ②
- 【第8回】 班ごとに研究を進める。本調査。調査結果の整理、分析 ①
- 【第9回】 班ごとに研究を進める。本調査。調査結果の整理、分析 ②
- 【第10回】 研究の進め方についてのガイダンス ② (LMS オンデマンド)
- 【第11回】 成果発表会の準備。レポート執筆の準備 ①
- 【第12回】 成果発表会の準備。レポート執筆の準備 ②
- 【第13回】 成果発表会 ①
- 【第14回】 成果発表会 ②
- 【第15回】 レポートの提出。まとめ